

# 東京教区時報

第1123号  
2009年5月17日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

## 《奉獻先から》

### 名古屋学生センター

国籍、思想、信条、性別、年齢に関わらず、全ての人を受け入れるセンターを目指して活動をしています。日本に住みながら教育の機会が与えられないフィリピン人の子どもたちの「国際子ども学校」は、多くの皆さまの支援で12年目を迎えています。4歳から11歳までの子どもたちが週5日、毎日元気に楽しそうに学校に通ってきます。卒業生にも継続的に家庭教師等の学習支援をしています。親の在留資格に関わらず、子どもが学び、成長する権利を保障するために、多くの方々と力を合わせていきたいと考えています。今後も皆さまのご支援をお願いします。

たします。(名古屋学生センター・総主事・松村 隆)

### ◆教役者レクイエム

5月20日(水) 10時半

主教座聖堂

説教 竹内謙太郎司祭

▽司祭伊東松太郎▽伝道師井原

多美子▽司祭K・E・ハイム▽司

祭末好万吉▽司祭井原泰男▽宣

教師ミスM・F・チャンドラー▽

司祭西村哲郎▽司祭矢澤信夫

### ◆とこしえの平安

4月17日 守 田美子(80)

4月17日 田内 俊治(65) 聖マーガレット

4月21日 鈴木 長司(86) 聖アンデレ

◇春・夏季のバザー(1) 聖ミカエル

▽池袋聖公会 5月24日(日) 11

時 14時半 聖マルチン・聖

マルコ 31日(日) 12時 15時

### 今週・来週の予定

5月17日~30日

- 17(日) 復活節第6主日  
主教巡回  
小金井聖公会  
外濠・山手・多摩  
環状G教会協議会
- 18(月) エ教会協働委員会  
財政委員会
- 20(水) 教役者レクイエム  
常置委員会
- 21(木) 昇天日  
信仰と生活委員会
- 22(金) 城南G牧師協議会  
聖職養成委員会
- 24(日) 復活節第7主日  
(昇天後主日)  
主教巡回  
聖オルバン教会  
教区合同聖信式
- 26(火) 銀座朝禱会  
IT特別委員会  
礼拝音楽委員会
- 27(水) 教役者聖餐式

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

聖路加看護大学在学中は故司祭・竹田真二チャブレンから何度も受洗を勧められましたが、高い壁を超えることはできませんでした。ところが交換看護婦としてアメリカでキリスト教と歩む生活を体験した時、その壁はすんなり越えることができました。病院内にあるチャペルの中は患者・家族・医師看護師等々いつも祈りの姿が、病室でも聖書を読む患者の姿がありました。竹田チャブレンは大喜びでした。あれから36年です。

### 《み手のなかで》

### 皆の中にいる神様に育てられ

長濱 晴子

状は好転しませんでした。「早く治して下さい」と神様に祈ることはせず、現実を受け入れる、その中で最善を尽くすことに没頭しました。近代医療が合わないなら「自分で治そう」と自宅療養に切り替え、看護の原点に戻りながら中国医療や各種民間療法の力を借りながら健康を回復しました。その間の心の動きは闘病↓共生↓感謝の道でした。私の中に神様はいる。病気になって会った多くの方の中にも神様はいる。知識・技術・優しさの形となって神様が治して下さい。

仕事で忙しさにまぎれ教会生活から離れていた私は16年前、目が開き難い、首が重くてうつむいてしまう症状から重症筋無力症(難病)と診断されました。最高の近代医療を受けたにもかかわらず症

診断後1年半後には素直に「病気は神様の贈物」という思いで一杯になりました。今は感謝の延長線上にいて、感謝の段階を少しずつ昇っている気がします。(東京諸聖徒教会信徒)

◇人事(4月1日付)

・司祭 成 成鍾(ソン・ソングジョン) 大韓聖公会釜山教区より出向受入、聖公会神学院出向命令  
 ・司祭 朴 美賢(パク・ミヒョン) 大韓聖公会釜山教区より出向受入、聖愛教会主日勤務命令

▽五本木九条の会へ憲法に学

ぶ▽講演会 「子どもの未来は大丈夫か?」 講師・石坂啓(週刊金曜日編集委員)。5月27日(水)18時半、聖パウロ教会、入場無料。照会☎090-8044-8524(同九条の会事務局)。

▽教区日曜学校連絡会合同遠

足) 日曜学校・教会学校の子どもたちの親睦と交流をはかる合同催事、各校を中心に参加呼び掛け。30日(土) 11時〜15時、国

営昭和記念公園(JR青梅線西立

川駅徒歩2分)。現地集合・解散、雨天中止。入園料 小・中学生80円、大人400円。照会等の連絡先☎090-5349-3096(事務局)。

▽死者と残された者のためのレ

クイエム 23日(土) 14時半、神田キリスト教会。演奏 小島弥寧子(Or)・高柳章江(Sp)。入場無料(自由献金)。照会☎03(3251)4981(会場教会)。

▽故西村哲郎司祭1周年記念

式徳ぶ会 30日(土) 13時半〜16時、聖路加国際病院1号館チャペル。記念式後14時半から偲ぶ会をチャペルホールで(茶菓代千円)。照会先☎03(5550)2264・2293 聖路加看護大学生命倫理研究会。

《今、この教会では…》

阿佐谷聖公会聖ペテロ教会

老朽化の進んでいた牧師館が改築され、昨年10月26日に聖別式が挙行された。教会員が丸となつて協力し、借入金なしで落成でき、ただ感謝。当教会の主日礼拝の平均出席者71名のうち1割が子どもである。大人の陪餐の列に加わって司祭より神妙に祝福を受けている子どもたちの姿は、大きな恵み。当教会では6名のオルガニストが交代で主日礼拝の奏楽を担当している。私も50年を超える教会生活を、オルガンの奉仕をすることによって、続けてくることのできた。生き生きとした礼拝を守るお手伝いを、これからも続けたい。(森本光生)

【クローズアップ】14

ゲスト2師を迎えて

工教区協働委員会講演会

東京教区がお招きした平和活動家パレスチナ人司祭アテイク師とイスラエル人文化人類学者ハーパー氏が、関西で講演の後、4月25日の立教大学での市民集会に続き、26日は聖アンデレ教会で宗派を超えたクリスチャンの集りで講演された。パレスチナの窮状を訴え、問題の解決には世界中の人々の助けが必要、和解のために立ち上がって欲しいと呼びかけた。

イスラエル・パレスチナ双方に犠牲者があり、愛する者を失った遺族の中には憎しみと報復に走るだけでなく、悲しみを乗り越え相手側の遺族と交流

し、平和への道を模索する人達

がいる。また、イスラエルにもパレスチナ人殺戮を拒否する兵士達が体験談を各地で語る活動を始めている。アテイク司祭自身は幼い頃、武装したユダヤ人シオニスト達に故郷を追われナザレで育った。イスラエルがパレスチナ人を抑圧しているのは正しくない。国際法に反して種々の不正義を行っていることに抗議する」と声をあげ、サビール(アラビア語で『道』の意)という組織を立ち上げた。「神はすべての人を愛しておられる」、「イエスは非暴力で不正義に抗議なさった」、だから私たちがキリストにならない非暴力で正義が行われるよう働きかけている、との話には説得力があった。

また、米国で生まれ育った

ハーパー氏は、「家屋破壊に反対するイスラエル委員会」を組織し、イスラエルが破壊したパレスチナ人の家屋を何度でも再建して抗議している。今の紛争を解決するには双方が相手を受け入れて共存するしかなく、それぞれに固有の文化を持ちながら共存することは可能と説く。「どうか日本政府に働きかけ、アメリカを動かして、イスラエルに国際法に従い国連決議を守らせるように」と訴えた。

こうした政治問題に教会が関わるのは、これが人権の問題、人間の尊厳を守る問題で、私達の信仰と深く関わるためです。

エルサレム教区協働委員会委員

岩 浅 明 子